

令和元年度社会教育施設アクションプラン

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめる、市民要望的確に応えて市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備												
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題
1-1 図書館資料の充実	予算の適正な執行により、資料の刷新を図り、市民満足度を高めて、資料総書数の増進、年間貸出点数90万点達成を目指す	1 蔵書資料点数の充実	資料蔵書数	574,964点	576,000点	579,430点	100.60%	5	概ね順調に充実は図れたため	現状を維持していく	5.0	予算執行の状況はみえても、かけた努力の成果はここにはみえない。現状維持を望みます。
		2 貸出点数の増加	貸出点数	855,095点	856,000点	794,285点	92.79%	5	概ね順調に貸出点数が増えているため ※3月14日以降、休館していた分を加味	現状を維持していく	4.8	台風など気象現象にも左右されることなので、多少の増減は仕方ないと思います。
		3 子どもの読書推進のための児童書や、調べ学習に役立つ児童向け図書を購入	年間購入数	2,933点	2,635点	2,804点	106.41%	5	概ね順調に購入による受入れができたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		4 郷土資料・行政資料の充実を図る	年間収集数	700点	500点	498点	99.60%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができたため	現状を維持していく	5.0	「郷土資料」の定義(意味づけ)が不明確に思う。地元(地域)資料と郷土資料との違いあり。
		5 市民ニーズに応えて、健康・福祉・経済に関する図書や文庫(小冊子)、大人向け紙芝居など一般向け図書を購入	年間購入数	7,435点	6,790点	6,062点	89.28%	5	幅広いジャンルで購入し、受入れができたため	現状を維持していく	3.8	大人向け紙芝居など、今後も購入を希望します。 就職、転職、能力開発、日常等の仕事等のため、図書館から必要な情報や知識を得たいというニーズが高まりつつある。こうした利用者に対応するため図書資料の収集(紙や電子)が重要だと思っております。市民ニーズは多岐にわたるので、今後も幅広いジャンルでの蔵書を望みます。
		6 各種調査研究のための参考図書を購入	年間購入数	296点	175点	281点	160.57%	5	毎月、毎年発行されている資料は、購入により受入れができたため	現状を維持していく	5.0	市民のかなり広い活動が見られる。歴史研究や様々な研究活動が存在している。それらの方々への対応があると高松市などの独自の学習が支援できると思う。図書館の窓口相談の力量を向上したいものだ。
		7 視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本を購入	年間購入数	111点	110点	81点	73.64%	4	概ね出版されているものは全て購入できたが、出版自体が少ないため目標値には届かなかったため	現状を維持していく	3.9	出版されているものは全て購入しているとのことなので、評価をもう少し上げてほしいと思う。 大活字本など適切な図書が期待される。老人福祉等関係機関(団体)との連携を図りながら、図書利用の補助(宅配サービス等、きめ細かいサービスの拡充を望む。 特殊本で出版予定が不からず、数値目標を立てるのが難しい。 対象の図書全て購入できたことは評価できる。
		8 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	21種	21種	18種	85.71%	5	休刊となった雑誌が出てしまったが、昨年度受入れていた企業から継続して雑誌を受入れることができたため	休刊となった雑誌の代わりに他の雑誌を入れたらいいと思う。また、現在スポンサーとなっていない企業にも働きかけていきたい	5.0	(意見はありませんでした)
		9 在住外国人の生活支援のための外国語資料の収集	総蔵書数	2,016点	2,020点	1,719点	85.10%	5	経年劣化により多く(除籍した)目標値を下回ったが、点数は少ないが購入できたため	現状を維持していく	5.0	他の委員の方から意見が出た在住外国人の方に保育施設入居の必要書類のマニュアルなどがあるととても良いと思うが、これは図書館というより市民生活のそれなりの部署が担当し、支援していただく必要があると思う。他の部署にも市民からの意見として伝えてほしい。 今後も少しずつ点数を増やしていって欲しい。

令和元年度社会教育施設アクションプラン

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る  
 ◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめ、市民要望の順に応えて市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価		外部評価			
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題	
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	レファレンスサービスの充実のため、職員研修への積極的な参加を促す	1	人事異動等によって 司書職員数を増やす	司書職員数	35人	36人	36人	100.00%	5	<p>本館は異動により司書資格者が1名減ったが、その後1名司書資格を取得した。</p> <p>人事異動により4月時点では減少したが、夏期投資で取得者がおり、昨年同様100%で確保(西武分館)。</p> <p>司書職員数は新規に有資格者を採用した(金子分館)。</p> <p>司書職員は昨年同様司書率50%を維持しているが、増員には至らなかった(藤沢分館)。</p>	課題を維持していく	5.0	<p>本を採り時、図書館の方にお願いするよう出てくるので、素晴らしいと思う。</p> <p>司書資格職員が着実に増えている。</p> <p>図書館サービスの新たな展開を実現するため、専門的職員の適切な配置に満足している。</p> <p>有資格者が増えなくても良い、利用者の要望に的確に対応して欲しい。</p>
		2	レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	1回	1回	1回	100.00%	5	<p>県の研修に参加し、県内の図書館職員とともに課題に取り組み、レファレンスに関する知識を得ることができた。</p>	<p>図書館協力レファレンス掲示板などを用いて、県内の他館と協力し、レファレンスサービスの向上に努める。</p>	5.0	<p>利用者ニーズに対して図書館サービスの更なる高度化を図るため、図書館の研修はもとより、県や関係団体の実施する研修会に積極的に参加し、研修を重ねていただければと思う。</p> <p>県や他館との情報交流を今後も行って欲しい。</p>
		3	高齢者、障害者の読書推進のため、録音資料を作成	録音資料作成点数	4点	3点	4点	133.33%	5	<p>利用者との電話でのコミュニケーションを行い、全館の図書館等に所蔵の録音図書4点を作成し提供することができた。</p> <p>収録時期についても適正で、時間的余裕をもって実行できたため。</p>	<p>DAISY化が難しい資料の作成を依頼したため、ボランティアグループに負担をかけたしまったので、後継者に委ねて、対面相談を重めることも検討する。</p>	5.0	<p>時間的に余裕があったにしても素晴らしい。</p> <p>大変な作業だと思う。</p>
	図書館ボランティアの育成に努め、その活動の場を拡大し、活動を支援する	4	ボランティアの活動の場である「おはなし会」を全館で開催	おはなし会回数	367回	350回	329回	94.00%	5	<p>2/25~3/31のおはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館中止したが、4月からは、予定通りに開催できた(本館)。</p> <p>ボランティア団体と協力して順調に運営し、今年度から毎週水曜日と土曜日の開催回数を10.30とした。</p> <p>定員の確保、各種資材の準備、研修会の実施が増えたが、新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(西武分館)。</p> <p>おはなし会は、公民館利用ホール等への読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の開催を図ることにより、効果的な参加が期待できるが、小学生の参加が大幅に減少していること、おはなし会の参加人数を目標し、今年度も取り組んでいきたい(金子分館)。</p> <p>おはなし会は、読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の開催を図ることにより、効果的な参加が期待できるが、小学生の参加が大幅に減少していること、おはなし会の参加人数を目標し、今年度も取り組んでいきたい(金子分館)。</p> <p>おはなし会は、読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の開催を図ることにより、効果的な参加が期待できるが、小学生の参加が大幅に減少していること、おはなし会の参加人数を目標し、今年度も取り組んでいきたい(金子分館)。</p>	<p>おはなし会は、回数だけでなく、多くの子どもたちに参加してもらえよう努力したい(本館)。</p> <p>おはなし会は、読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の開催を図ることにより、効果的な参加が期待できるが、小学生の参加が大幅に減少していること、おはなし会の参加人数を目標し、今年度も取り組んでいきたい(金子分館)。</p> <p>おはなし会は、読み聞かせ支援を拡大しながら分館内のおはなし会の開催を図ることにより、効果的な参加が期待できるが、小学生の参加が大幅に減少していること、おはなし会の参加人数を目標し、今年度も取り組んでいきたい(金子分館)。</p>	4.8	<p>小学生の参加を呼び戻すには、やはり小学生向けの時間を取ることにしたい。そして、この専任スタッフから子どもたちに一言伝えてもらう効果があると思う。おはなし会の中に語りを取り入れることは大変。そして、語れる人を増やすことも必要。</p> <p>全館、職員の方々、ボランティア共に頑張っていると思います。新型コロナウイルスによる3月のおはなし会が中止になったのは残念です。今後も不安はありません。</p> <p>サービスの公平性を考えても図書館のない地域を考慮すべき。公民館活動との調整も検討する必要があると思う。</p> <p>小学生になるとおはなし会が多くの若い人をしていける機会が多く、遠征などもあるため実施は難しいと思う。</p>
		5	利用促進のため「おたのしみ会」を開催	おたのしみ会回数	7回	6回	6回	133.33%	5	<p>「冬のおたのしみ会」を1回実施できた(本館)。</p> <p>4月の子ども読書の日、読書で春のお楽しみ会を増やしたため(西武分館)。</p> <p>おたのしみ会は、夏まで計画を最長の参加者数となったため(金子分館)。</p>	<p>産業文化センター改修のため(集金会)を実施して行ったため、音楽(楽器の演奏)を取り入れることができなかった。</p> <p>本年度は改善したい(本館)。</p>	5.0	<p>(意見はありませんでした)。</p>
		6	研修会(ボランティア研修会)の実施	研修会開催回数	1回	1回	0回	0.00%	1	<p>予算が確保できず、具体的な予定も立っていないため。</p>	引き続き、予算確保に努めたい	1.0	<p>読み聞かせボランティア層からすると、研修会がボランティア仲間を増やすとても良い機会となっている。これからは運営ボランティア等も必要とってくるので、やはり研修会を開催、図書館活動に参加していただくのが良い方法だと思う。予算が問題ならば、職員の方が講師になって小さな研修会でもいいのではないか。</p> <p>ボランティア研修会の必要を感じます。今後も予算確保をお願い致します。</p> <p>利用者に対する新たな図書館サービスを開発していくために必要な知識・技術等を有するボランティアの参加を促進するよう努める。そのために希望者の活動の場等に関する情報提供やボランティア活動の研修の実施など、諸条件の整備などに努める。</p> <p>予算確保をして是非実行して欲しい。</p> <p>研修会がボランティア研修会の実施を是非行っていただきたいと思っています。</p> <p>ボランティアの方々も高齢化や人材確保を心配されているので、年1回でも研修会を行えば良いと思う。</p>
		7	子どもを対象とした「ブザー一日図書館員」を実施(本館)	参加者数	94人	96人	92人	95.83%	5	<p>募集人数96人のところ、定員一杯の申し込みがあったため(当日欠席があったため)、人数は92人。</p>	現状を維持していく	5.0	<p>子どもの確保は難しい問題だと思います。本来の図書館の利用促進というところから、遠い場所ではやはり意味が無いかなと思います。早くできるようになるといいですね。</p>
		8	利用促進事業として「人形劇」を開催	参加者数	42人	80人	0人	0.00%	1	<p>会場の産業文化センターが改修工事で使用できなかったため開催できなかつた。</p>	実施していく	1.0	<p>他場所で実施できなかったのか。</p> <p>西武分館の視聴覚室を使用したよ。</p> <p>改修工事などは定期的に行われるもので、仕方ない。</p>
	9	子ども読書推進のため「読書ラリー」を実施	修了者数	330人	300人	283人	94.33%	5	<p>昨年度より修了者が若干減ったが、概ね目標に達したため(本館)。</p> <p>昨年より修了者が増えたため(西武分館)。</p> <p>何度も参加した児童もいたが、参加者数は昨年の半分強にとどまった(藤沢分館)。</p>	実施していく	4.6	<p>興味を引くような呼び方ができた。</p> <p>毎週のように図書館を利用していますが、我が子は一度もオススメされたことありません。そのくらいは他にも多いのではないかと考えます。</p>	
	10	利用促進のため文学講演会を開催	参加者数	84人	100人	-	-	-	-	3/19実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した(なお、申込者は100名に達していた)	実施していく	-	<p>目的が余りにも短期的だと思う。「文学」と限定する理由が理解できない。</p>

令和元年度社会教育施設アクションプラン

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめる、市民要望的に的確に対応して市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備													
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価		
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)			
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	利用促進につながる各種事業を実施し、分館においては民間のノウハウを活用する	11	利用促進のため分館3館で自主事業を開催	実施事業数	47事業	40事業	41事業	102.50%	5	継続事業に加え、はじめて実施した西武寄席は、近隣出身の落語家を招き、事前申込は一週間で満員に達し、参加者アンケートでは本年度の実施を希望する意見があり好評だったため(西武分館) 新規自主事業として「樹木園が語る金子分館周りの自然」・「埼玉の水森林と分館から守ろう」・「熊山のルートコンサート」・「一般向け映画会」を実施できたため(金子分館)	現状を維持していく	各館、特色のある工夫された自主事業をされていく感がある。これからも続けていってほしい。 市民の自主的・自発的な学習活動を奨励するため、講演会・朗読会・映画会・読書会・資料展示会を主催し、市民ニーズに応えていく。市民の満足度も高い。 各館で新しい事業に取り組んでいる。更に継続し、新規の企画を立てて欲しい。 幅広いテーマでそれぞれの図書館で特長のあるイベントなどを企画していると思う。	
		12	本館、西武分館、藤沢分館の夜間(17時～20時)入館者数	夜間入館者数	423人	400人	413人	103.25%	5	3/14～3/31は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館臨時休館だったが、目標値をクリアし夜間入館者数の増加が図れたため	現状を維持していく	(意見はありませんでした)	
		13	本館、西武分館、藤沢分館の夜間開放事業(20:00～21:30)による利用者数平均	利用席数	16席	16席	12席	66.67%	3	3/14～3/31は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館臨時休館の影響があると思うが、ページのない結果となった。 定数の利用者はいるものの、一日平均で減少しているため	本館閲覧室は自習の利用者が中心で、図書館資料の閲覧が多くないものを見受けられる	(意見はありませんでした)	
	地域情報の収集、提供の他、ホームページによる図書館情報の迅速かつ正確な提供を行う	14	入館者数の増	年間入館者数	703,586人	700,000人	645,891人	92.27%	5	全館減少傾向があるため	利用促進事業や図書館PRの充実により、現状の入館者の維持を図る	施策の是非とは全く関係ないところでの数字だ。図書館のあり方を根本的に。 今後は年々減少傾向になっていくことは避けられないと思う。それでも求職機会を増やすイベントを取り組むを継続的にやっていくことが求められると思う。	
		15	視聴覚ライブラリーの活用	視聴覚ライブラリーを 活用し映画会を開催	年間上映回数	24回	27回	21回	77.78%	4	機材の不具合もなく、順調に上映できたため ただし、新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(西武分館)	現状を維持していく	(意見はありませんでした)
		16	図書館ホームページのメンテナンス実施回数	メンテナンス実施回数	10回	12回	12回	100.00%	5	実施が遅れたことはあったが、毎月1回システム担当によるホームページのチェックを行い、情報の更新を図れたため	必要に応じて、チェック項目の更新を図る	ホームページが使えないという時がないのは素晴らしい。	
	各種メディアや広報紙等を活用し、図書館情報の発信や事業の実施状況を発信する	17	パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	4,764人	3,000人	3,710人	123.67%	5	目標値に達したため	パスワードを登録するメリットとともに、図書館ホームページや館内OPACから手軽に登録できることをPRしていく	5.0	(意見はありませんでした)
		18	「広報いまま」の毎月1日時に図書館関連記事を掲載	年間掲載月数	12回	12回	12回	100.00%	5	計画通りに毎月記事を掲載することができたため	引き続き広報の配布日程を考慮し、予定しているイベントやお知らせが全て載せられるように調整していきたい	4.8	「広報いまま」は読んでくれる人も多く思うので、毎月掲載して欲しい。
		19	「広報いまま」に図書館関連の特集記事を年1回以上掲載	年間掲載回数	1回	1回	1回	100.00%	5	特集記事で、図書館のさまざまなサービスについて紹介ができたため	今回は広報いままの担当内で特集記事の内容を決めたが、今後、担当以外にもアイデアを聞くようにしたい	5.0	(意見はありませんでした)
		20	図書館だよりの発行	年間発行回数	4回	4回	4回	100.00%	5	計画通りに発行できたため 図書委員・ボランティアに協力して、読者やスタッフの意見も取り入れ、記事の質をより充実させていきたい	全館分の事業案内の校正に時間がかるが、余裕をもって取り組み、記事の内容をより充実させていきたい	5.0	内容が充実している。 図書館だよりの発行は回数にこだわらず、現在の定額化によって僕々と思えます。 楽しみにしている人も多いと思う。小学校への配布も続けていって欲しい。
		21	金子分館だよりの発行	年間発行回数	12回	12回	12回	100.00%	5	金子分館だよりは、毎号金子小学校図書委員おすすめ本を紹介し、金子小学校や学習・保育所向けには「わくわく分館だより」を毎月発行した。発行に際しては、自治会へ贈り設置された地区の掲示欄に自主事業のポスターも掲載し、金子地区へ広く幅広く情報発信できたため(金子分館)	現状を維持していく	素晴らしい取り組みだと思う。 地域の実情に即した広報の工夫、一律な方法では不可能だと思う。	
		22	コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	50回	50回	50回	100.00%	5	予定通り出演しているため	現状を維持していく	5.0	コミュニティFMに出演している事を広く知ってもらうための取り組みのアピールがあっても良いと思う。
	分館の指定管理者による効果的な管理運営とサービスの向上を監督する	23	CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	12回	12回	12回	100.00%	5	予定通り、5回出演できたため(本館) 取材、出演が前年度に比べて2回だったため(西武分館) 取材、出演が昨年より1回増えたため(金子分館) 取材、出演が1回だったため(藤沢分館)	予定通りお知らせはできたので、今後も出演回数の確保に努めたい(本館) 入館CATVに取り上げていただける回数を増やせるよう、PRなどを工夫していく(藤沢分館)	現状を維持していく	(意見はありませんでした)
		24	指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2回	2回	2回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。
		25	指定管理者の人員費や労働条件等の確認	実施回数	3回	3回	3回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。
26		図書館運営の自己評価し、図書館協議会の外部評価を受けた後、市民に公表する	評価と公表の実施	1回	1回	1回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	予定通り行えたことは評価できる。	

令和元年度社会教育施設アクションプラン

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共につくる図書館運営をすすめる、市民要望の的確に応えて市民満足度の向上を図る

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 実施目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価		外部評価			
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題	
2-1 家庭・地域の教育力の向上	学校図書館や学校図書館ボランティアと連携協力し、子どもたちの学習活動及び読書活動を支援する	1	図書館見学(小学校3年生・市内全校で実施)	参加校数	15校	16校	15校	93.75%	5	希望のあった学校には、全て対応できた(本館) 計画通り実施できたため(西武分館) 図書館見学は、金子小学校3年生に加えて、新しい年度も参加するようにしたため(金子分館)	参加校に対しては、今年度から貸出を希望する生徒は事前にやまばと等や図書館利用券カードを作成してもらうようにしたところ、生徒本人がいないと利用券カードの作成ができないことを知り、保護者の方が作成されることもあったため、学校と連携してカード作成について周知していきたい(本館)	5.0	大変有意義な事業である。今後も継続してほしい。 狭小の不参加について、本館の要因を考えてみたい。 是非継続してほしい。「プッチーニ図書館員」にもつながる可能性大。 希望のなかった学校についても他校と差が出ないように今度は実施できるようにしてほしい。
		2	図書館利用教室(小学校2年生・市内全校で実施)	参加校数	15校	16校	16校	100.00%	5	希望のあった学校には、全て対応できた(本館) 計画通り実施できたため(西武分館) 4校30人以上の児童に実施し、未能する児童から紹介した本の割合が多数ある等反響もあったため(藤沢分館)	利用教室は全校実施できたが、見学については都合により実施しない学校があった	5.0	大変有意義な事業である。今後も継続してほしい。 大人向けの利用教室も数回あったら良いと思います。
		3	学校図書館ボランティア育成のための研修会を開催	参加者数	48人	50人	63人	126.00%	5	「読み聞かせについて」と「本の修理について」の2回実施し、参加人数が目標値を超えたため	中学校の学校図書館ボランティアは参加が少ないので、今後も呼びかけに努めたい	4.9	各学校には図書館ボランティアの方がいて、子どもたちに本を届けようという熱心な活動している。この人たちが図書館員としてつながると、本の選定や、本棚の整理などの仕方など、もっと広げられる。具体的には各学校のボランティア代表者に連絡を取り、フリガリリストを届けるとか、学期毎又は季節毎に必ずの本や図書館の行事案内を送る。ボランティアの人にもっと働きやすい、「どろぐり」の最新情報の提供なども知らせると良いのではないかと。 学校教育においても読書活動が実施されていることから、よまかせのボランティアを養成、それを通じて読み聞かせを行うことにより図書館への関心を高め、図書館の利用促進を図る。 今後の開催は半年に1回など定期的に行っていくて欲しい。
		4	移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8校	8校	8校	100.00%	5	移動図書館車の学校巡回に当たっては、例年どおり実施できたため	移動図書館車の配車時間が合わないことから余り利用されない学校がある。毎年、配車時間の一部調整したい	5.0	「やまばと号」を申し込みしている児童が多い。今後も継続してほしい。
		5	配本サービスを実施	箇所数	33箇所	39箇所	39箇所	100.00%	5	定期利用・不定期利用合わせて39箇所(定期・不定期で重複あり)配本を行い、目標を達成したため	徐々に周知され、利用団体も増加しているが、依頼が断りな行えるよう、業務手順等の見直しを図る	5.0	金子分館の配本サービスを利用したことで、学級文庫が充実した。 このサービスを知らない団体が多いため、積極的に紹介し、どのように市民や団体へ知らせいくのかは課題。
	市民生活の中での読書活動の重要性を伝える事業や親子の読書活動のきっかけづくりとなる事業を市内各団と協力して実施する	6	ブックスタート事業実施に向けた市内連携会議を開催	会議開催回	0回	1回	0回	0.00%	1	予算が確保できず、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため	引き続き、予算確保に努めたい	1.0	市内会議でも予算がないと聞けないですか 今後まだ子どもとついでに中での少しづつ増やしていきたい。
		7	全庁的な子育て支援策の一環としてブックスタート関連事業を実施	年間実施回数	12回	12回	10回	75.00%	4	新型コロナウイルス感染症対策の開催でやむを得ず、2月と月に実施する予定だったが中止しているが、それ以外は計画通りに実施できたため(本館) 計画通り実施できたため ただし、新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった(西武分館) ブックスタートは毎回2名で対応し、自主事業への反響もあつたため また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の開催で2回中止になったが、今後状況を見極めて適切に実施できるよう努めたい	目標回数は12回だが、これはBCOGの接種回数である この機会を利用して行っているため、両館には、市民の皆さんと読書者へ届きたいが、これ以上増やすことは不可能であるため、現状を維持したい また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の開催で2回中止になったが、今後状況を見極めて適切に実施できるよう努めたい	3.8	BCOGの読み聞かせは開催状況ではないと必ず、BCOGのほうから受ければ、切り替えるなど考慮した方がよいのでは。 BCOG接種時の実施だと、あまり聞いていない状況があるということなので、別の機会を設けて実施できるとよい。 乳幼児と保護者が集まる場での読み聞かせが、BCOGのほうに方法があるまじらぬか、他の館と連携でき、良い方法が見つかりますように。 目標回数12回はBCOGの接種回数とのことです。子どもが生まれてからよりは、ハイハイや教室の場で行うというのを考えてみたい。 BCOG接種の時が本館に良いかは検討していくて欲しい。
		8	市内関係課との連携事業を実施	事業実施数	9事業	9事業	8事業	88.89%	5	3/5ノンドリにそでてひろばまつり」に本館公民館生協が、新型コロナウイルス感染症対策のため、8事業となったが、他の事業は予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	他の社会教育施設(公民館等)、学校、児童館等と連携するなど、多様な学習会の場にも活用し、学習活動の場、資料の提供などに努めてほしい。
		9	「おとなのための読書会」を開催(西武分館 共催:小園の会)	年間実施回数	1回	1回	1回	100.00%	5	計画通り実施できたため(西武分館)	「おとなのための読書会」の参加者が減少した(西武分館)	5.0	(意見はありませんでした)
		10	「古典読書会」を開催(藤沢分館 共催:古典の会)	年間実施回数	12回	12回	11回	91.67%	5	新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や臨時休館により、予定の回数には1回回らなかった 読書会を開催しては、一連に声を出さず参加のコーナーを始めることで新たなハイターを呼ぶことができ、参加者も増加したため(藤沢分館)	現状を維持していく	4.8	小さな会でも参加者は多い。また、大人に対しての事業が少ないので、子どもも参加できるようにしてほしい。
		11	「公民館との共催事業」を開催	実施事業数	5事業	6事業	5事業	83.33%	5	公民館との共催事業は、子ども読書会に保育所、学習など3つの団体参加があり、新規一輪向け読書会を実施できたため(金子分館) 例年行っている「サマーキッズ教室」は今年度も多くの参加者があり、「こわいおはなし会」には、藤沢分館では初めて高松の読書会がテーマとなり、1名参加したことが出来た。 ただし、読書会については、一輪向けは毎月が大人読書会テーマタイム」が好評だったが、子ども向けは台風接近の中止等があり一度も実施できなかったため(藤沢分館)	読書会等共催事業の会場確保の手間について公民館と協議し、より良い時期に会場の決定が出来るよう努める(藤沢分館)	4.8	高校生や大学生の読書ボランティアは大きな成果だと思ふ。この子たちをもっと増やしていくことが事業を活性化させる基になる。 地域の状況もあるが、地域の文化向上を誘導する仕組みであり、図書館からの声かけなどの文化向上への働きかけが必要であると思う。そういう意味で、公民館活動との連携が望ましいと思う。高齢化する公民館のサークル活動や社会活動への関心を高め、良い流れを作れるべき。 定章配本も公民館と共催で何かできないだろうか。

令和元年度社会教育施設アクションプラン

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共に歩む図書館運営をすすめる、市民要望的確に応えて市民満足度の向上を図る

3 図書館施設の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業目標(数 値目標)	令和元年度 事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び課題
3-1 図書館網の整備	図書館情報ネットワークシステムの安定的な運用に努める  ダイヤ4市及び青梅市との相互利用促進につながる広域サービス利用者の増加を目指す	1 図書館システムの安定的な運用(事故回数をゼロとする)	システムダウン回数	0回	0回	0回	100.00%	5	利用者に影響が及ぶシステムダウンは発生していないため	今後とも適切な運用を心掛けたともに、不具合発生時に迅速な対応が取れるよう、情報共有を図る	5.0	(意見はありませんでした)
		2 ダイヤ5市との相互利用促進	相互利用者数	36,981人	37,000人	35,304人	95.42%	5	概ね順調に、充実が図れているため※3月14日以降、休館していた分を加味	相互利用についてのPRを図りたい	4.8	今後も相互利用についてPRは必要であると思います。
		3 青梅市との相互利用促進	相互利用者数	109人	100人	57人	57.00%	3	概ね順調に、前年度と同程度の利用を維持しているため※3月14日以降、休館していた分を加味	相互利用についてのPRを図りたい	3.3	お互いに資料・情報の充実にも努めるとともに、それぞれの状況に応じた多様な学習の要望に対応するため、相互利用等、協力活動の積極的な実施を望む。 今後も相互利用についてPRは必要であると思います。
		4 西部地域まちづくり協議会(図書館部会)への出席	年間会議出席回数	3回	3回	3回	100.00%	5	西部地域まちづくり協議会において、予定通り図書館運営の調査・研究ができたため	現状を維持していく	4.8	(意見はありませんでした)
3-2 図書館施設の計画的な整備	施設整備の計画的な整備により、市民に快適な読書環境の提供を行い、施設に対する市民満足度を向上し、公共施設としての最適化を進める	5 本館の館内設備の充実を図る	実施件数	3件	1件	3件	300.00%	5	利用者用コピー機の更新、法令データベースの導入、本の消毒器の新設(各棚ができたため)	引き続き、館内設備の更新に努めます	5.0	本の消毒器がありがたい、消毒器を別館、分館にも欲しい。(それこそ予算をお願いしたい。)
		6 分館の館内設備の充実を図る	実施件数	1件	2件	3件	150.00%	5	参考資料室空調設備改修工事を実施。館内用カゴの設置、一日図書館員専用に使用する字どし用プリンターの購入、玄関天井改修、撤去作業。(西武分館)  昨年度新設した「認知症」コーナーをより幅広い情報を提供していたため「高齢者の生活支援」コーナーに名称変更。今年度からグリーンカーテンはキジツなどの常緑樹に変更。文化協会から寄贈を受けた郷土資料(金字をひく)の充実、大人向け本コーナーを書架棚に設置、児童用カゴの設置。おはなしコーナーはジョイントマットを敷き詰め、(金子分館)  試験館臨時学習室の開設と、夏期臨時学習室を従来より時期を変更して開設。非ちゃんタイム開始による館内環境の整備、テーマズ書架にシリーズ別置きを増設。館内用カゴの設置。積中電灯の設置。救急用品や館内清掃用具消費品の整理し追加。館内利用者への注意喚起表示の公表(「おかしも」)。個別閲覧席の提示をわかりやすい形で追加。事業等の案内掲示の増設(本型イーゼルによる、入口と児童コーナー)。一般雑誌書架への最新刊についての注意書きを提示。空調設備のからの水漏れへの対応(業者による全体の現状チェックを公表館と協力し実施)。一日図書館員専用に使用する字どし用プリンターの購入。「非ちゃん」の駅「関連の新しい館内提示物(おむつ替え台の案内等)」を設置。(藤沢分館)	引き続き、館内設備の更新に努めます	5.0	住民の近くに図書館がない。しかも、今後多くの市の施設がなくなる。地域の文化の向上は望めない。 本館、分館、配本所を含めて平等に設備の充実を望みます。